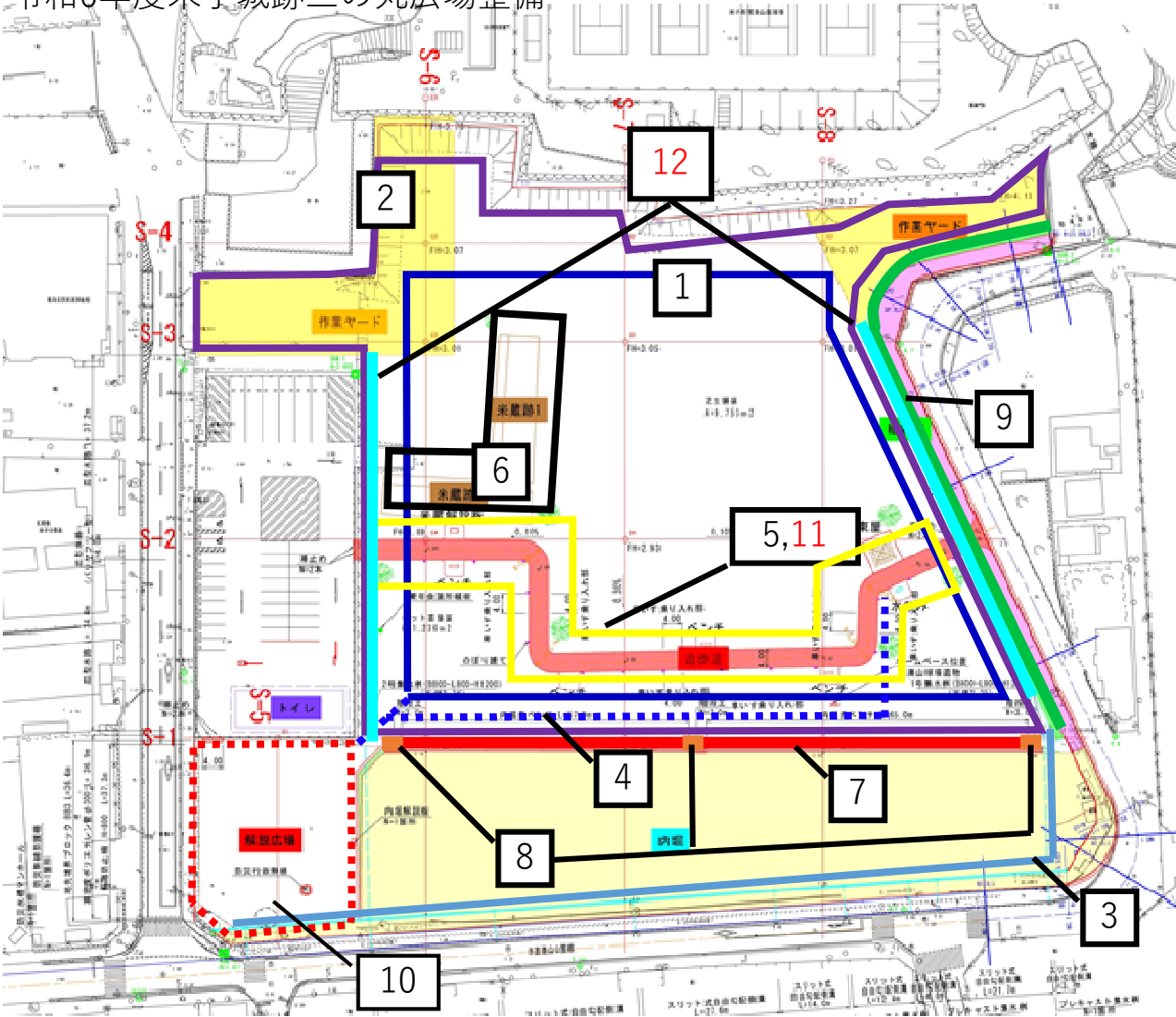
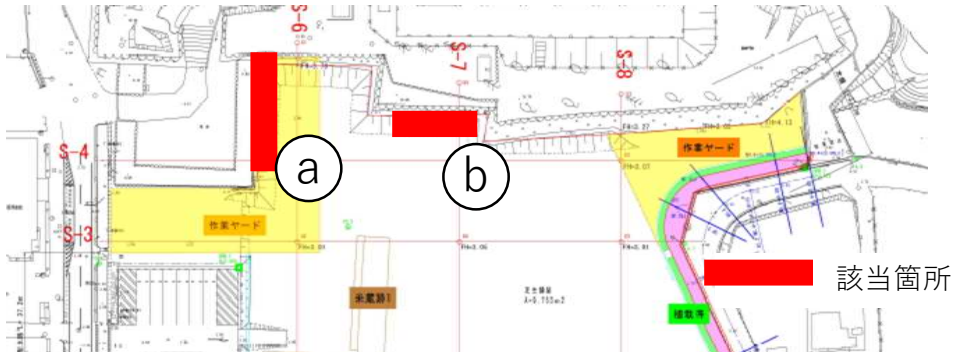




番号	内容	備考
1 	散水設備	スプリンクラー用配管設備
2 	排水設備	暗渠排水
3 		側溝
4   	上水道設備	スプリンクラー・水飲み用
5 	電気設備	遊歩道沿い、フットライト、コンサートホール向けの配電設備
6 	米蔵	平面表示
7 	内堀壁面	
8 	階段工	長ベンチ内3か所
9 	植栽帯	植栽ブロック
10   	内堀舗装	解説広場部分（路盤のみ）
11 	遊歩道縁石	
12 	排水路	

枅形石垣の三の丸側（a地点）は、試掘調査の結果会石垣の状態が悪く、第13回整備検討委員会において保護盛土を残す事とした。

また、b地点については露出展示を計画していたが、盛土除去の際、石垣（C-20）にコンクリート製の水路が造りつけられているのを発見した。無理に水路を撤去すると石垣を棄損する恐れがあるため、対象区域（b地点）については現状のまま法面を残し、シートで覆って当面の保護を図ることとした。



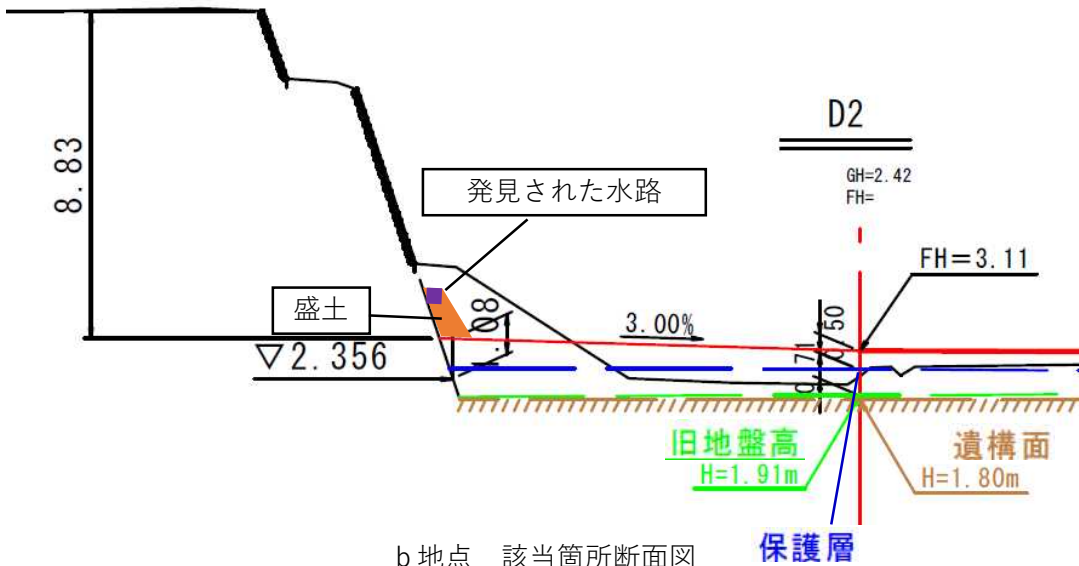
三の丸広場平面図



a地点現状写真

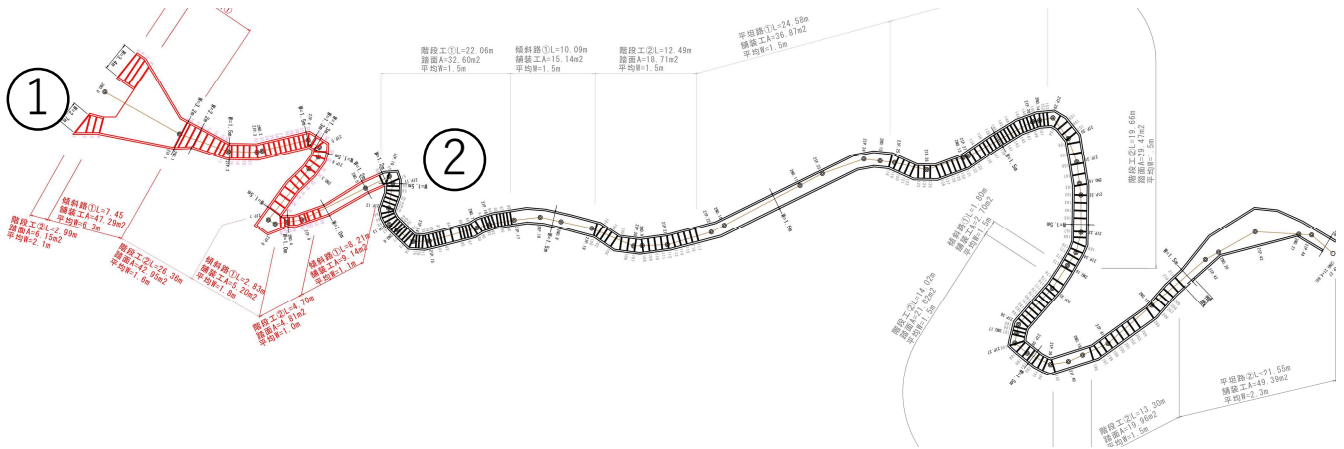


b地点水路検出状況

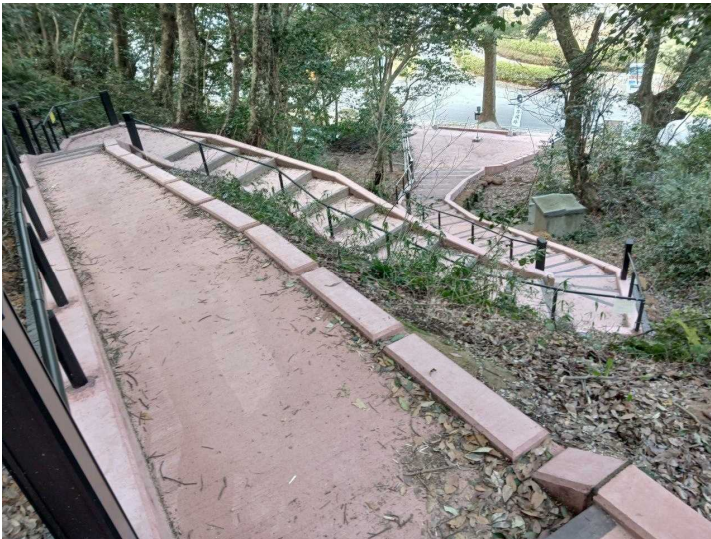


b地点 該当箇所断面図

令和6年度登城路整備区間



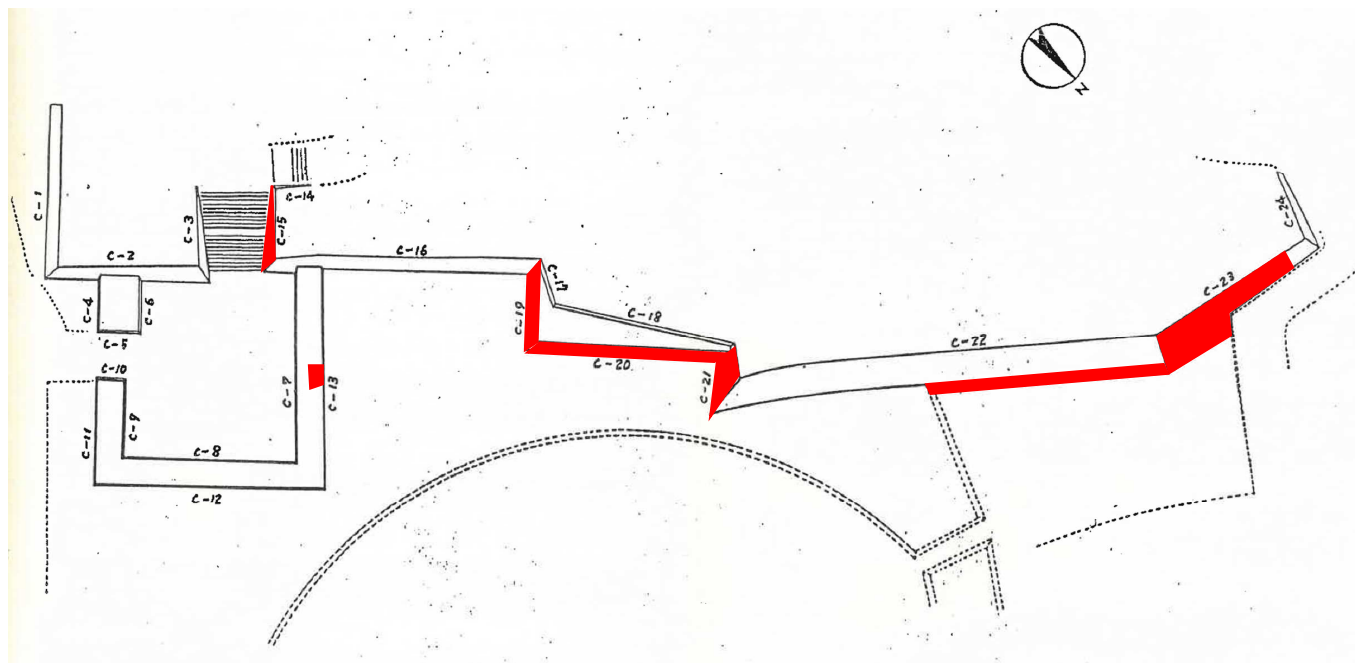
①



②

報告 (2)

令和6年度石垣カルテ(三次元測量)作成箇所



c -13



c -15



c -19



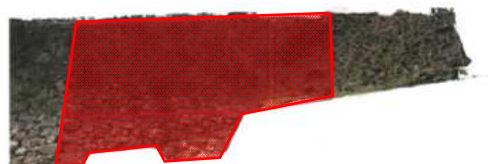
c -20



c -21

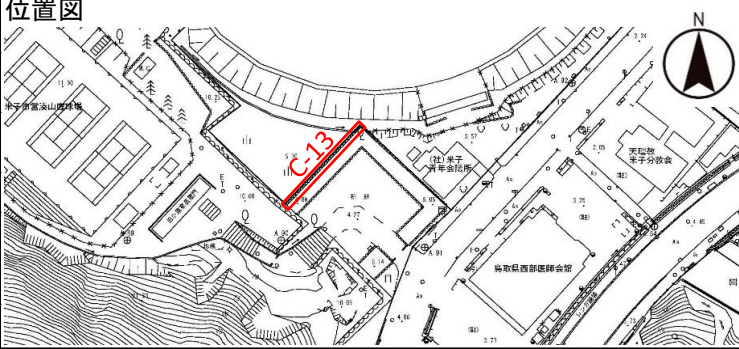
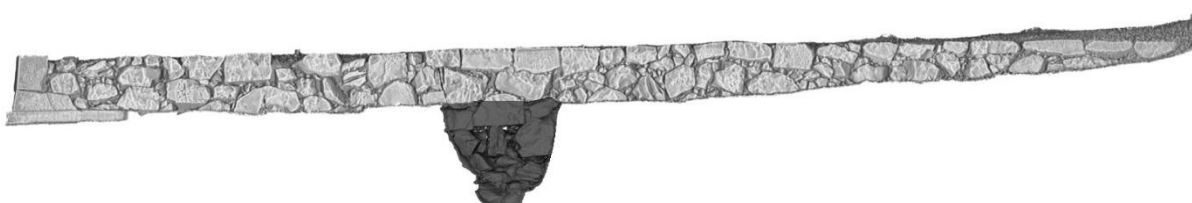


c -22



c -23

米子城跡 石垣カルテ調査票

石垣番号	C-13	地区	二の丸	位置図										
石垣部位	枅形	方位	北西											
地盤	岩盤・地山・盛土 桐木・不明	立地面	平坦面 斜面(度)											
延長		高さ												
天端	裾基部	左	中央	右										
28.64m	28.87m	1.71m	1.33m (3.76m)	0.41m										
立面積		34.42㎡ (38.70㎡)												
隅角部	平面形状	立面形状			石材加工技術	石材構成		石材寸法	石材形状・規格性					
		勾配	反り											
左	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	84.7度	無・有(天端から)	m	野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石(量[]・加工技法[])・縦石詰め)	角脇石(2個)・やせ角	小0.83m×0.90m 大1.67m×0.78m	有					
右	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	—	無・有(天端から)	m	野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石(量[]・加工技法[])・縦石詰め)	角脇石(1個)・やせ角	1.10m×0.43m	—					
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)									
ノミ痕					凝灰角礫岩・流紋岩									
築石部	平面形状	立面形状			石材加工技法	石積み技法	石材構成	石材寸法	石材形状・規格性					
		勾配	反り	気負い										
	直・輪取り	85.0度	無・有(天端から)	m	野面石・割石・切石	乱積み・布崩し積み・布積み・谷積み	間詰石(量[少]・加工技法[])・鏡積	小0.10m×0.09m 大1.59m×0.42m	無					
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)									
矢穴・ノミ痕					凝灰角礫岩・流紋岩									
破損	緩み	孕み	割れ	抜け落ち	崩れ	樹木	天端の沈下	その他	変形の計測	無(有)	危険性			
隅角部	天端	無	無	無	無	無	有	無	無	観測年・状況 ・3D(TLS)測量 ・50cmメッシュ横断面図 (2024年8月)	崩落等の可能性	a2		
	中部	無	無	無	無	無	無	無	無		周辺の利用形態等から見た危険性	b3		
	裾基部	無	無	有	無	無	無	無	無		無			
築石部	天端	無	無	無	無	有	有	有	無		危険度	1次	(c)	
	中部	有	有	無	有	無	無	無	無			最終		
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無	無					
古絵図・古文書等														
既往の発掘調査・研究等														
上部構造物														
築造時期						改修時期								
分類						編年								
見取り図・写真														
オルソ画像(グレーサーフェイス)														
														
調査年月日	2024年12月20日					調査者	米子市文化財振興課 中原 斉・濱野 浩美 ㈱アイテック 原田 悟							

米子城跡

隅角部特記事項

築石部特記事項

破損・変形要因・その他特記事項

試掘調査を行った下位の抜け落ち等が顕著であったため、埋め戻して保護盛土を残している。

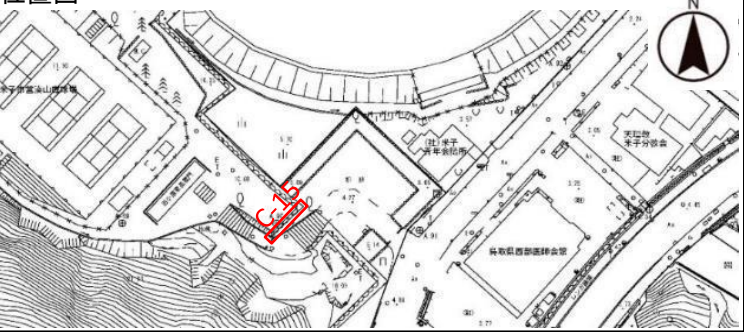
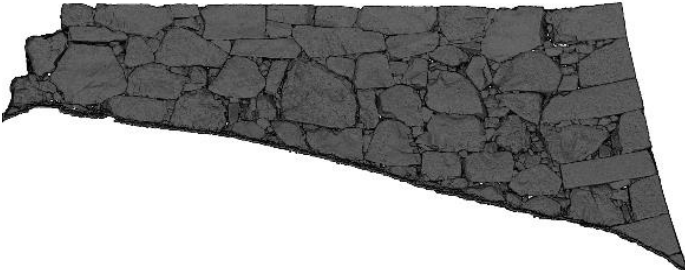
備考

図面・写真・その他

オルソ画像(テクスチャ)



米子城跡 石垣カルテ調査票

石垣番号	C-15	地区	二の丸	位置図										
石垣部位	表中御門	方位	南東											
地盤	岩盤 地山 盛土 桐木・不明	立地面	平坦面 斜面(13 度)											
延長		高さ												
天端	裾基部	左	中央	右										
9.88m	12.58m	1.78m	2.60m	4.75m										
立面積		32.32㎡												
隅角部	平面形状	立面形状			石材加工技術	石材構成		石材寸法	石材形状・規格性					
		勾配	反り											
左	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	—	無・有(天端から m)		野面石・割石・切石	算木積(無・角石)・間詰石(量[]・加工技法[])・縦石詰め		角脇石(一個)・やせ角	—	—				
右	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	67.6度	無・有(天端から 1.32m)		野面石・割石・切石	算木積(無・角石)・間詰石(量[多]・加工技法[タタキ])・縦石詰め		角脇石(1個)・やせ角	小0.56m×0.72m 大1.78m×0.58m	有				
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)									
					凝灰角礫岩									
築石部	平面形状	立面形状			石材加工技法	石積み技法	石材構成	石材寸法	石材形状・規格性					
		勾配	反り	気負い										
	直・輪取り	74.0度	無・有(天端から m)		野面石・割石・切石	乱積み・布崩し積み・布積み・谷積み		間詰石(量[多]・加工技法[タタキ])	小0.47m×0.30m 大1.36m×1.03m	無				
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)									
矢穴、ノミ痕					凝灰角礫岩									
破損	緩み	孕み	割れ	抜け落ち	崩れ	樹木	天端の沈下	その他	変形の計測	無	有	危険性		
隅角部	天端	無	無	無	無	無	無	無	観測年・状況 ・3D(TLS)測量 ・50cmメッシュ横断面図 (2024年8月)	崩落等の可能性	a3			
	中部	無	無	有	無	無	無	無			周辺の利用形態等から見た危険性	b1		
	裾基部	無	無	無	無	無	有	無				無		
築石部	天端	無	無	無	無	無	無	無		危険度	1次	D		
	中部	無	無	有	無	無	無	無			無	最終		
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無			無			
古絵図・古文書等														
既往の発掘調査・研究等														
上部構造物														
築造時期						改修時期	昭和50年代							
分類						編年								
オルソ画像(グレーサーフェイス)														
														
調査年月日	2024年12月20日					調査者	米子市文化財振興課 中原 斉・濱野 浩美 ㈱アイテック 原田 悟							

米子城跡

隅角部特記事項



中部に割れを確認

築石部特記事項



築石部中部に割れを確認



矢穴、タタキ加工が確認できる

破損・変形要因・その他特記事項



右側隅角部付近に樹木(クスノキ)が巨木化している

備考

図面・写真・その他

オルソ画像(テクスチャ)



米子城跡 石垣カルテ調査票

石垣番号	C-19		地区	二の丸		位置図											
石垣部位	二の丸下段		方位	南東													
地盤	岩盤・地山・盛土 桐木・不明		立地面	平坦面 斜面(度)													
延長		高さ															
天端	裾基部	左	中央	右													
11.58m	13.08m	3.43m	4.19m	7.43m													
立面積		52.13㎡															
隅角部	平面形状	立面形状			石材加工技術	石材構成			石材寸法	石材形状・規格性							
		勾配	反り														
左	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	60.6度	無・有(天端から m)	野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石(量[少]・加工技法[タタキ]・縦石詰め)	角脇石(一個)	やせ角	小0.52m×0.41m 大0.55m×0.76m	無								
右	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	65.9度	無・有(天端から1.48m)	野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石(量[無]・加工技法[タタキ・スタレ])	角脇石(1個)	やせ角	小0.64m×0.47m 大1.07m×0.50m	有								
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)												
矢穴・ノミ痕					凝灰角礫岩												
築石部	平面形状	立面形状			石材加工技法	石積み技法	石材構成	石材寸法	石材形状・規格性								
		勾配	反り									気負い					
	直・輪取り	73.5度	無・有(天端から m)	無・有	野面石・割石・切石	乱積み・布崩し積み・布積み・谷積み	間詰石(量[少]・加工技法[タタキ・スタレ])	小0.44m×0.53m 大1.52m×0.60m	無								
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)												
矢穴・ノミ痕					凝灰角礫岩												
破損	緩み	孕み	割れ	抜け落ち	崩れ	樹木	天端の沈下	その他	変形の計測	無	有	危険性					
隅角部	天端	無	無	無	無	無	無	無	観測年・状況 ・3D(TLS)測量 ・50cmメッシュ横断面図 (2024年8月)	崩落等の可能性	a3						
	中部	無	無	有	有	無	無	無				周辺の利用形態等から見た危険性	b1				
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無			危険度			1次	D		
築石部	天端	無	無	有	無	無	無	無					最終				
	中部	無	無	有	有	無	無	無									
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無									
古絵図・古文書等																	
既往の発掘調査・研究等																	
上部構造物																	
築造時期						改修時期	無										
分類						編年											
見取り図・写真																	
オルソ画像(グレーサーフェイス)																	
調査年月日	2024年12月20日					調査者	米子市文化財振興課 中原 斉・濱野 浩美 ㈱アイテック 原田 悟										

米子城跡

隅角部特記事項



左側中部に割れを確認



右側中部に抜け落ちを確認

築石部特記事項



天端に割れを確認



中部に割れを確認



中部に抜け落ちを確認

破損・変形要因・その他特記事項

備考

図面・写真・その他

オルソ画像(テクスチャ)



米子城跡 石垣カルテ調査票

石垣番号	C-20		地区	二の丸		位置図									
石垣部位	二の丸下段		方位	北東											
地盤	岩盤・地山・盛土 桐木・不明		立地面	平坦面 斜面(度)											
延長		高さ													
天端	裾基部	左	中央	右											
29.10m	30.39m	7.43m	4.68m	3.00m											
立面積		139.72㎡													
隅角部	平面形状	立面形状			石材加工技術	石材構成			石材寸法	石材形状・規格性					
		勾配	反り												
左	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	65.9度	無	有(天端から1.48m)	野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石) (量[無]・加工技法[タタキ]・縦石詰め)	角脇石(1個)	やせ角	小0.63m×0.59m 大1.55m×0.98m	有					
右	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	61.2度	無	有(天端から m)	野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石) (量[少]・加工技法[無]・縦石詰め)	角脇石(-個)	やせ角	小0.47m×0.25m 大0.87m×0.48m	無					
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)										
					凝灰角礫岩										
築石部	平面形状	立面形状			石材加工技法	石積み技法	石材構成	石材寸法	石材形状・規格性						
		勾配	反り									気負い			
	直・輪取り	70.0度	無	有(天端から m)	無	有	野面石・割石・切石	乱積み・布崩し積み・布積み・谷積み	間詰石(量[少]・加工技法[タタキ])	小0.40m×0.48m 大1.45m×1.46m	無				
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)										
矢穴・ノミ痕					凝灰角礫岩										
破損	緩み	孕み	割れ	抜け落ち	崩れ	樹木	天端の沈下	その他	変形の計測	無	有	危険性			
隅角部	天端	無	無	無	無	無	無	無	観測年・状況 ・3D(TLS)測量 ・50cmメッシュ横断面図 (2024年8月)	崩落等の可能性	a3				
	中部	無	無	有	有	無	無	無							
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無							
築石部	天端	無	無	無	有	無	無	無			危険度	1次	D		
	中部	無	無	有	有	無	無	無							
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無							
古絵図・古文書等															
既往の発掘調査・研究等															
上部構造物															
築造時期						改修時期 昭和50年代									
分類						編年									
見取り図・写真															
オルソ画像(グレーサーフェイス)															
調査年月日	2024年12月20日					調査者	米子市文化財振興課 中原 斉・濱野 浩美 ㈱アイテック 原田 悟								

米子城跡

隅角部特記事項



左側中部に割れを確認



右側中部に抜け落ちを確認

築石部特記事項



中部に割れを確認



天端に抜け落ちを確認



中部に抜け落ちを確認

破損・変形要因・その他特記事項

築石部中位にコンクリート製排水路が石垣に食い込んで設置されており、容易に撤去できないため、保護盛土として残している。

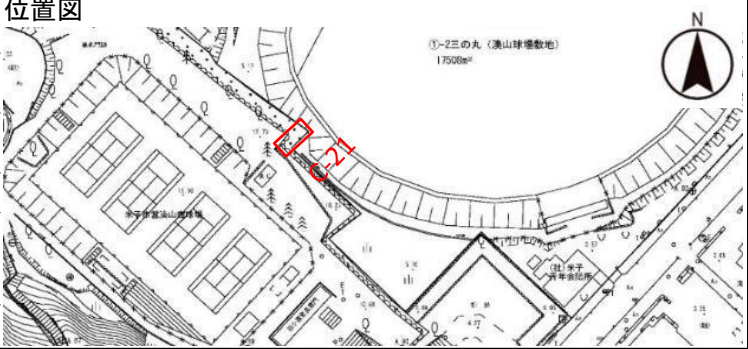
備考

図面・写真・その他

オルソ画像(テクスチャ)



米子城跡 石垣カルテ調査票

石垣番号	C-21	地区	二の丸	位置図										
石垣部位	二の丸上段	方位	北西											
地盤	岩盤・地山・盛土 桐木・不明	立地面	平坦面 斜面(度)											
延長		高さ												
天端	裾基部	左	中央	右										
5.80m	13.50m	2.30m	6.18m	10.22m										
立面積		51.74㎡												
隅角部	平面形状	立面形状			石材加工技術	石材構成		石材寸法	石材形状・規格性					
		勾配	反り											
左	出角・入角・鑄出角・ 鑄入角・すり付け	70.1度	無	有(天端から m)	野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石 [量[少]・加工技法[無]]・縦石詰め	角脇石(一個)・やせ角	小0.39m×0.25m 大0.72m×0.35m	無					
右	出角・入角・鑄出角・ 鑄入角・すり付け	55.0度 62.3度	無	有(天端から m)	野面石・割石・切石	算木積(算・角石・間詰石 [量[少]・加工技法[タタキ]・縦石詰め	角脇石(1個)・やせ角	小0.63m×0.45m 大1.89m×0.63m	有					
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)									
					凝灰角礫岩									
築石部	平面形状	立面形状			石材加工技法	石積み技法	石材構成	石材寸法	石材形状・規格性					
		勾配	反り							気負い				
	直・輪取り	71.0度	無	有(天端から m)	無	有	野面石・割石・切石	乱積み・布崩し積み・ 布積み・谷積み	間詰石(量[少]・ 加工技法[タタキ])	小0.42m×0.49m 大0.98m×0.53m	無			
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)									
矢穴、ノミ痕					凝灰角礫岩									
破損	緩み	孕み	割れ	抜け落ち	崩れ	樹木	天端の沈下	その他	変形の計測	無	有	危険性		
隅角部	天端	無	無	無	無	無	無	無	観測年・状況 ・3D(TLS)測量 ・50cmメッシュ横断面図 (2024年8月)	崩落等の 可能性	a2			
	中部	無	無	無	無	無	無	無			周辺の利用形態等 から見た危険性	b1		
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無						
築石部	天端	無	無	無	無	無	無	無		危険度	1次	B2		
	中部	無	有	有	有	無	無	無			無	最終		
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無			無			
古絵図・ 古文書等														
既往の発掘 調査・研究等														
上部構造物														
築造時期						改修時期	無							
分類						編年								
見取り図・写真														
オルソ画像(グレーサーフェイス)														
														
調査年月日	2024年12月20日					調査者	米子市文化財振興課 中原 斉・濱野 浩美 ㈱アイテック 原田 悟							

米子城跡

隅角部特記事項

築石部特記事項



中部に割れを確認



中部に抜け落ちを確認



孕みを確認

破損・変形要因・その他特記事項

備考

C-20の保護盛土が中位以下に設けられている。

図面・写真・その他

オルソ画像(テクスチャ)



米子城跡 石垣カルテ調査票

石垣番号	C-22		地区	二の丸		位置図									
石垣部位	二の丸上段		方位	北東											
地盤	岩盤・地山・盛土 桐木・不明		立地面	平坦面 斜面(度)											
延長			高さ												
天端	裾基部		左	中央	右										
63.31m	68.74m		10.22m	-	9.78m										
立面積			637.90m ²												
隅角部	平面形状	立面形状			石材加工技術	石材構成		石材寸法	石材形状・規格性						
		勾配	反り												
左	出角・入角・鑄出角・ 鑄入角・すり付け	55.0度	無・有(天端から m)		野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石 (量[]・加工技法[])・縦石詰め		角脇石(-個)・やせ角	小 m × m 大 m × m	-					
右	出角・入角・鑄出角・ 鑄入角・すり付け	56.7度	無・有(天端から m)		野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石 (量[]・加工技法[])・縦石詰め		角脇石(-個)・やせ角	小0.73m × 0.82m 大1.03m × 1.33m	-					
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)										
					凝灰角礫岩										
築石部	平面形状	立面形状			石材加工技法	石積み技法	石材構成	石材寸法	石材形状・規格性						
		勾配	反り												
	直・輪取り	-	無・有(天端から m)		野面石・割石・切石	乱積み・布崩し積み・ 布積み・谷積み	間詰石(量[少]・ 加工技法[タタキ])	小0.47m × 0.40m 大1.50m × 0.79m	無						
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					石質(岩石の種類・特徴・産地等)										
矢穴・ノミ痕					凝灰角礫岩										
破損	緩み	孕み	割れ	抜け落ち	崩れ	樹木	天端の沈下	その他	変形の計測	無	有	危険性			
隅角部	天端	無	無	無	無	無	無	無	観測年・状況 ・3D(TLS)測量 ・50cmメッシュ横断面図 (2024年8月)	崩落等の 可能性	a1				
	中部	無	無	無	無	無	無	無			周辺の利用形態等 から見た危険性	b2			
	裾基部	無	無	無	無	無	無	無							
築石部	天端	無	無	無	無	無	有	無		危険度	1次	B1			
	中部	無	有	有	無	無	無	無			最終				
	裾基部	無	有	無	無	無	無	無							
古絵図・古文書等															
既往の発掘調査・研究等															
上部構造物															
築造時期					改修時期		無								
分類					編年										
見取り図・写真															
オルソ画像(グレーサーフェイス)															
調査年月日	2024年12月20日					調査者	米子市文化財振興課 中原 斉・濱野 浩美 ㈱アイテック 原田 悟								

米子城跡

隅角部特記事項



右側隅角部 鎬出角

築石部特記事項



中部に多数の割れを確認



孕みを確認

破損・変形要因・その他特記事項

備考

石垣の危険性を考慮し、将来的な修理を前提として、芝生広場から除外して、作業ヤードとしている。三の丸広場利用者が立ち入らない対策が必要。

図面・写真・その他

オルソ画像(テクスチャ)



米子城跡 石垣カルテ調査票

石垣番号	C-23	地区	二の丸	位置図												
石垣部位	二の丸上段	方位	北北東													
地盤	岩盤・地山・盛土 桐木・不明	立地面	平坦面 斜面(度)													
延長		高さ														
天端	裾基部	左	中央	右												
26.49m	29.50m	9.78m	6.62m	4.21m												
立面積		214.95㎡														
隅角部	平面形状	立面形状			石材加工技術	石材構成			石材寸法	石材形状・規格性						
		勾配	反り													
左	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	56.7度	無・有(天端から m)		野面石・割石・切石	鑄積み(無・角石・間詰石) (量[少])・加工技法[タタキ]・縦石詰め			角脇石(一個)・やせ角	小0.46m×0.40m 大1.55m×0.66m	無					
右	出角・入角・鑄出角・鑄入角・すり付け	64.1度	無・有(天端から m)		野面石・割石・切石	算木積(無・角石・間詰石) (量[]・加工技法[])・縦石詰め			角脇石(1個)・やせ角	小0.25m×0.45m 大0.28m×0.91m	無					
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					矢穴								石質(岩石の種類・特徴・産地等)			
									凝灰角礫岩							
築石部	平面形状	立面形状			石材加工技法	石積み技法	石材構成	石材寸法	石材形状・規格性							
		勾配	反り							気負い						
	直・輪取り	58.2度	無・有(天端から m)	無・有	野面石・割石・切石	乱積み・布崩し積み・布積み・谷積み		間詰石(量[多]・加工技法[タタキ])	小0.39m×0.30m 大1.51m×0.46m	無						
加工痕跡等(表面加工・刻印・転用石・建物跡等)					矢穴(少)、ノミ痕								石質(岩石の種類・特徴・産地等)			
									凝灰角礫岩							
破損	緩み	孕み	割れ	抜け落ち	崩れ	樹木	天端の沈下	その他	変形の計測	無	有	危険性				
隅角部	天端	無	無	無	無	無	有	無	無	観測年・状況 ・3D(TLS)測量 ・50cmメッシュ横断面図 (2024年8月)		崩落等の可能性	a2			
	中部	無	無	有	無	無	無	無	無			周辺の利用形態等から見た危険性	b2			
	裾基部	有	無	無	有	無	無	無	無							
築石部	天端	無	無	有	有	無	有	無	無			危険度	1次	B3		
	中部	無	有	有	有	無	有	無	無				最終			
	裾基部	無	有	有	無	無	無	無	無							
古絵図・古文書等																
既往の発掘調査・研究等																
上部構造物																
築造時期					改修時期		江戸時代(右隅角部)									
分類					編年											
オルソ画像(グレーサーフェイス)																
調査年月日	2024年12月20日					調査者	米子市文化財振興課 中原 斉・濱野 浩美 ㈱アイテック 原田 悟									

米子城跡

隅角部特記事項

右隅



- ・右隅角部上部に、伐採された樹木の根が残存する。
- ・角石に矢穴痕あり。



矢穴痕



- ・左隅角部裾部に緩みを確認

築石部特記事項

- ・目地には土砂が埋まっている。背面の栗石の目詰まり、盛土の状態が良好ではないと考えられる。
- ・矢穴痕が残る石材が4石確認できる。



- ・中部に割れが確認できる
- ・中部に自然石の使用が確認できる



- ・天端に樹木が確認できる
- ・孕みが確認できる
- 矢穴痕

破損・変形要因・その他特記事項

- ・築石中央部より下部に割れがみられる。

割れ



割れ



割れ



備考

東側は三の丸整備の作業ヤードとしているが、西側はテニスコートへの進入路としており、テニスコート廃止後は修理が必要となる。

図面・写真・その他

オルソ画像(テクスチャ)



石垣危険度の考え方

20240919

○「史跡米子城跡石垣危険度判定方法（暫定版）」米子市文化振興課 2024

石垣カルテに記載する危険度判定については、『史跡松江城石垣総合調査報告書』（松江市2018）などの危険度判定法を参考とし、①石垣崩落の危険性の判定のみではなく、②仮に崩落した場合の被害状況の程度による判定を複合し、緊急性が高い箇所を抽出するものとする。以下、各基準について詳細を説明する。

【判定基準】

①石垣崩落の危険性について下記の「a 1」～「a 3」の3段階で判定した。

「a 1」：著しい変形、欠損、その他の破損要因により、崩落する可能性が高いと判断される場合。

「a 2」：変形、欠損、その他の破損要因により、将来的に崩落する可能性が高いと判断される場合。

「a 3」：変形、欠損、その他の破損要因が軽微もしくは確認されず、将来的にも安定していると判断される場合。

②石垣周辺の利用形態等から崩落等により生じる危険性について下記の「b 1」～「b 3」の3段階で判定した。なお、①で認識された危険部位が崩落した場合の被害状況を想定して判定するものとし、「a 3」判定とした石垣については、②判定を行っていない。

「b 1」：石垣が崩落した場合、人的被害を及ぼす可能性が高い、もしくは施設等の甚大な損傷や景観上の著しい滅失がある。

「b 2」：石垣が崩落した場合、人的被害を及ぼす可能性は低い、施設等の損傷や景観上の滅失がある場合。

「b 3」：石垣が崩落した場合、人的被害を及ぼす可能性はなく、施設等への影響も軽微もしくは皆無で、景観上の滅失のみ想定される場合。

③危険度については、上記①、②判定の結果を複合し、下記の危険度区分表によって1次判定する。さらに3次元計測等のデータを加えて総合的に最終的な危険度判定を行う

石垣危険度分類表

	a 1	a 2	a 3
b 1	危険度A／現状で崩落の危険性があり、利用上の危険性も高い場合	危険度B 2／将来的に崩落が危惧され、利用上の危険性が高い場合	危険度D／ 利用状態にかかわらず崩落の危険性が低い場合
b 2	危険度B 1／現状で崩落の危険性があるが、利用上の危険性は低い場合	危険度B 3／将来的に崩落が危惧されるが、利用上の危険性は低い場合	
b 3	危険度C／崩落の危険性や危惧があるものの、利用上の危険性がほとんどない場合		

※本判定方法は、将来的な史跡米子城石垣総合調査報告までの仮の方法と位置付ける。

報告 (3)

米子歴史絵巻、米子城ライトアップ (秋・冬)、ダイヤモンド大山 (10月・2月)、新年明けまして米子城 2025

(1) 米子歴史絵巻 (※米子市文化財団共催)

開催日時：令和6年9月23日 (月・祝) 午後6時～

開催場所：米子城跡三の丸駐車場

来場者数：220人



▲チラシ



▲駐車場の特設ステージで披露された能楽

(2) 米子城ライトアップ (秋・冬)

<秋>

実施日時：令和6年10月15日 (火) ～10月31日 (木) 日没～午後10時

実施場所：米子城跡

ライトアップの色：黄色

<冬>

実施期間：令和6年12月14日 (土) ～令和7年1月7日 (火) 日没～午後9時

実施場所：米子城跡

ライトアップの色：オレンジ色

その他：米子市内各所をライトアップする「Yonago マチノヒカリ☆2024 Winter」

(令和6年11月29日～令和7年1月31日) の一環



▲マチノヒカリのチラシ

▲黄色のライトアップ

▲オレンジ色のライトアップ

(2) ダイヤモンド大山 (10月・2月)

<10月>

①ダイヤモンド大山観望会

開催日時：令和6年10月20日(日) 午前6時15分～ ※19日(土)は雷雨で中止

開催場所：米子城跡

来城者数：約250人

②ダイヤモンドウィーク (米子城跡登城路へのランタン設置)

開催期間：令和6年10月20日(日)～27日(日) ※19日(土)は雷雨で中止

開催場所：米子城跡

来城者数：約1050人(※観望会の来城者含む)



▲チラシ

▲天守台で日の出を待つ来城者

▲記念撮影に応じる米子城武者隊

<2月>

①米子城跡登城路へのランタン設置

令和7年2月19日(水)～24日(月・祝)で予定していたが、雪などの天候不良により全日中止

②観望会

令和7年2月22日(土)開催予定だった米子市観光協会主催の「真冬の絶景 米子城ダイヤモンド大山観望会2025」も、天候不良により中止

(3) 新年明けて米子城 2025

開催日時：令和7年1月1日(水・祝) 午前7時～

来城者数：約1200人(※過去最多)



▲チラシ

▲天守台で初日の出を待つ来城者

▲演武を披露する米子城武者隊